



大沢寺跡

尊出平の上側に平らな跡地がある。ここは寺所(てらとこ)という地名が残っており、設楽町誌によれば、「永江氏の菩薩寺大沢寺跡」とされる。弘安9年11月(1286)に長江城主であった永江貞俊が葬られた場所といわれ、一石五輪塔が二基存在し、永江貞俊の子子孫が大沢寺住職になっていることが記されている。



遠山家のヒノキ

遠山家庭先に立ち、幹が根元から二本に分かれ根回り7.5m目通り5.3mと2.8m、樹高15m東海地方屈指の大木として知られる。根元に多くの石仏や祠が祀られ、御神木として大切にされている。

位置図



交通のご案内



設楽町観光協会

〒441-2302 愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田 17-7
 ※2021年5月頃移転予定
 〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前 14
 TEL. 0536-62-1000 FAX. 0536-62-1332
<https://www.kankoshitara.jp>



設楽の山城



三ツ柏紋

(永江氏歴代の居城)

長江城址

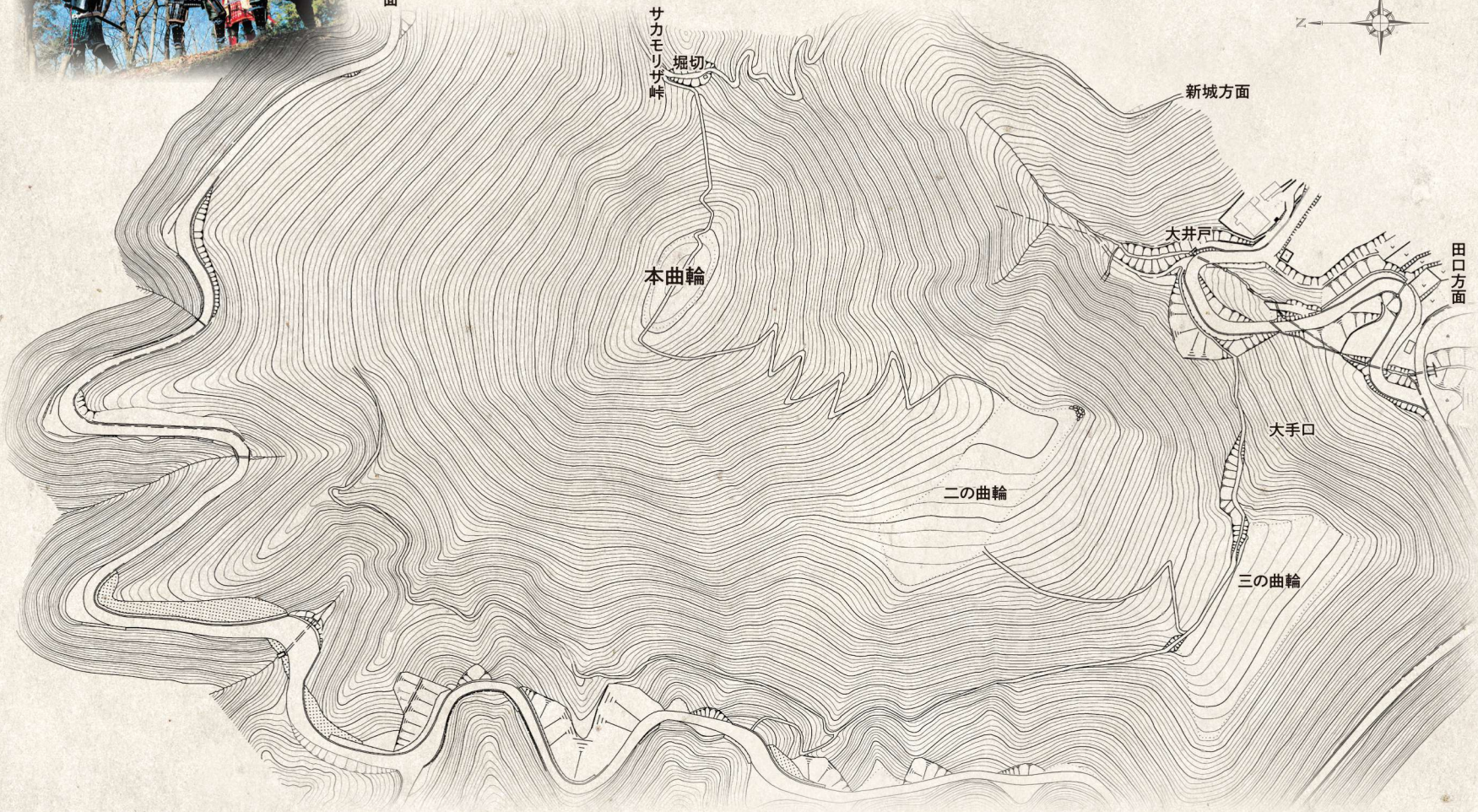


長江城址 (永江氏歴代の居城)

縄張り図



津具方面



城歴

所在地

北設楽郡設楽町長江字松ヶ根三番地 他
 長江集落の北側標高七三七mの山上に位置する郡内で最も古い城の一つである。北と西側は急斜面が県道まで続き、東側の大鈴山に続く尾根を大きく堀切っている。南側に百五十m・比高六十m下がる二の曲輪、ここから南側に百m・比高三十五m下がる三の曲輪となつて急斜面が県道まで続く。
 建久年間(二九〇)〜二九八)源平合戦の軍功により、源頼朝から永江荘の地頭職に任命された永江八郎時俊以下十三代にわたり、永江八邑を納めたといわれる。長江城が築城された年代は定かでないが、鎌倉幕府滅亡後南北朝の争乱に巻き込まれ、終始南朝方について戦い、南朝の衰退とともにこの地を去り廃城となった。



サカモリザ峠



本曲輪



大井戸の祠



三の曲輪